



フクジュソウは、雪国に春一番を告げる草花の代表である。だから、バツケと並び「春の使者」と呼ばれている。雪解けとともに鮮やかな黄金色の花を咲かす。昔から幸福と長寿を呼ぶめでたい花として愛され、正月の床飾り用として鉢植えがよく出回っている。別名ガンジツソウとも呼ばれている。開花後に茎が伸び、葉が広がる。花は光を受けて大きく広がり、雨天時には閉じる。

